

2 一般会計決算の状況

平成19年度の一般会計決算は、表2のとおり、歳入は約6,993億円、前年度に比べ約120億円、1.7%の減となりました。歳出は約6,801億円で、前年度に比べ約108億円、1.6%の減となりました。

収支の状況は、形式収支（歳入歳出差引額）で約191億円、実質収支（歳入歳出差引額－翌年度繰越財源）で約47億円の黒字、単年度収支（当該年度の実質収支－前年度の実質収支）で約0.5億円の黒字となりました。また、単年度収支に積立金や積立金取崩額等を加減した実質単年度収支でみると、約28億円の赤字となっています。これら実質収支等の状況については、図1をご覧ください。

なお、過去からの一般会計決算の推移については、図2及び巻末資料3をご覧ください。

表2 平成19年度一般会計決算収支状況

(単位：千円)

区 分		平成19年度 決算額	平成18年度 決算額
歳 入	A	699,282,037	711,316,689
歳 出	B	680,147,656	691,001,575
差 引 額	C(A-B)	19,134,380	20,315,114
翌年度繰越財源	D	14,425,693	15,653,676
実 質 収 支	E(C-D)	4,708,687	4,661,438
単 年 度 収 支	F(E-前年度E)	47,249	△2,425,286
積 立 金	G	158,708	67,385
繰上償還金	H	35,587	0
積立金取崩額	I	3,031,311	4,387,796
実質単年度収支	J(F+G+H-I)	△2,789,767	△6,745,697

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図1 実質収支等の状況（一般会計）

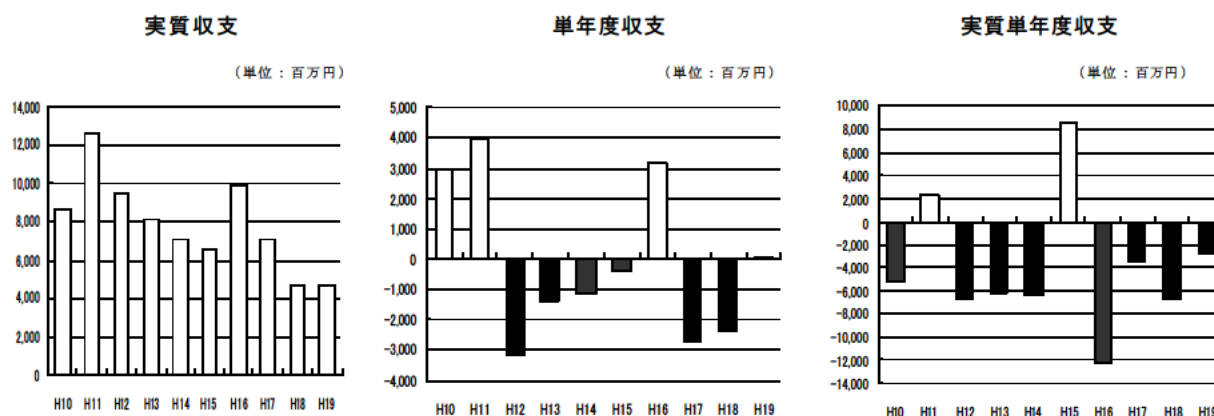
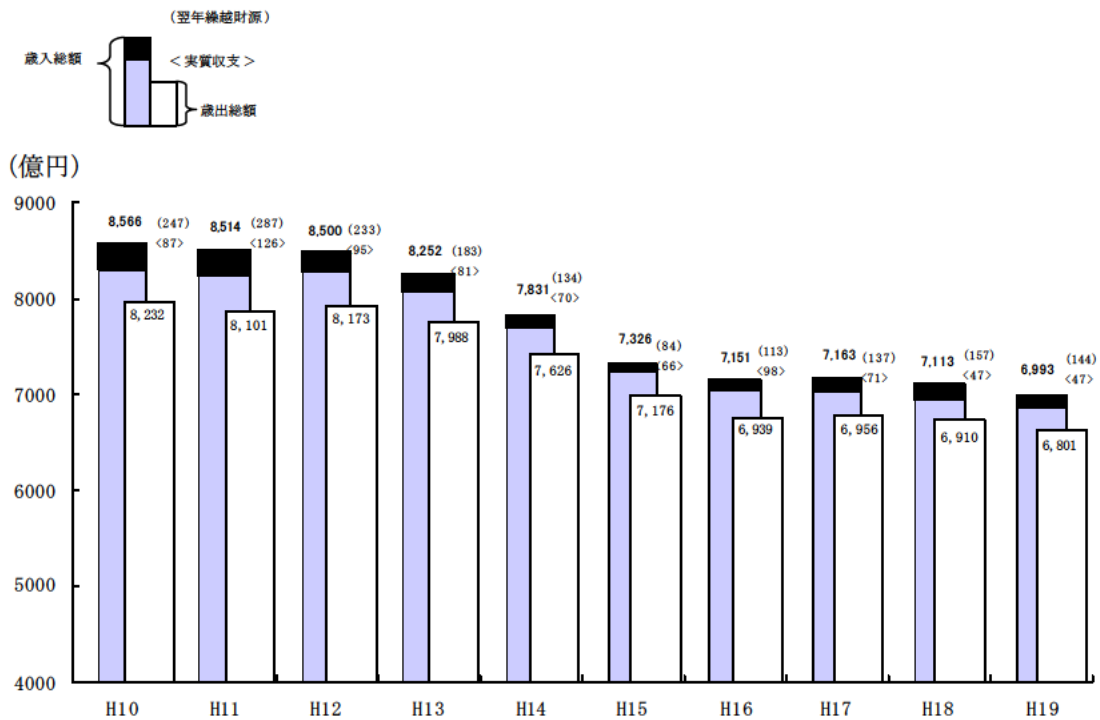


図2 一般会計決算の推移



(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

一口メモ

- **形式収支とは**…………… 現金主義の建前にとって、当該年度に収入された現金と支出された現金の差額を表示したもの；【(歳入決算額) - (歳出決算額)】
- **実質収支とは**…………… 本来当該年度に属すべき支出額(翌年度への繰越額)及び収入額(繰越額に係る未収入特定財源)といった発生主義の要素を加減し、実質的な財政収支の結果を明らかにするもので、累年による黒字、赤字額を示す；
【(形式収支) - (翌年度へ繰り越すべき財源)】
- **単年度収支とは**…………… 実質収支は前年度以前からの収支の累計であることから、額の影響を控除し、当該年度だけの収支を捉えるもの；
【(当該年度の実質収支) - (前年度の実質収支)】
- **実質単年度収支とは**… 単年度収支の中には、実質的な黒字要素や赤字要素が含まれており、これらを控除した単年度収支が、実質的にどのようなようになったかを表すもの；
【(単年度収支) + (財政調整基金積立額) + (地方債繰上償還額) - (財政調整基金取崩額)】